

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー2019』アワード受賞自治体が決定 チャレンジデー大賞(参加率が最も高かった自治体)は 新郷村(青森県) 113.1%

笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2019」を、5月29日(水)に開催いたしました。

全国119自治体(58市1区46町14村)で実施された「チャレンジデー2019」は、

参加者数 3,065,438人、平均参加率 58.9%の結果となりました(去年は全国**121**自治体実施、参加者数**3,315,699**人、平均参加率**61.2%**)。

実施自治体の中で、参加率(人口における参加者数の割合)が最も高かった自治体に贈られる「チャレンジデー大賞」には、青森県新郷村(113.1%)が輝きました。初実施の自治体で最も参加率が高かった自治体に贈られる「新人賞」は群馬県上野村(75.0%)が受賞しました。

※「参加率アップ賞」と「カテゴリー別優秀賞」は2枚目をご確認ください。

※オープン参加の自治体はアワード選考の対象外となります。

◆チャレンジデー大賞 2019(参加率が最も高かった自治体)

新郷村(青森県)……113.1%
(参加者数 2,818人/人口 2,492人)

◆新人賞(初実施の中で、参加率が最も高かった自治体)

上野村(群馬県)……75.0%
(参加者数 892人/人口 1,190人)

◆殿堂入り(チャレンジデー大賞またはベストPR賞をこれまでに計5回以上受賞した自治体)

※チャレンジデー2019より新設

新郷村(青森県) 7回目の受賞

チャレンジデーは、日常的な運動・スポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや住民の健康づくりなどを目的に、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型のスポーツイベントです。

人口規模がほぼ同じ自治体同士で、午前0時から午後9時までの間に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率(%)を競い合い、敗れた場合は対戦相手の自治体の旗を、翌日から庁舎のメインホールに1週間掲揚するというユニークなルールによって行われます。



この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当: 森田/山下/尾上/小淵
TEL: 03-6229-5300 E-mail: cday@ssf.or.jp

◆参加率アップ賞

昨年(チャレンジデー2018)と比較して、参加率が最も上がった自治体

市区町村	都道府県	上昇数	2018年 → 2019年
取手市	茨城県	22.0 ^{ポイント} UP	27.2% → 49.2%

◆カテゴリー別優秀賞

各カテゴリー内で参加率が最も高かった自治体

カテゴリー	市区町村	都道府県	参加率	参加者数/人口(※)
カテゴリー1 (人口6,000人未満)	新郷村	青森県	113.1%	2,818人/2,492人
カテゴリー2 (6,000~15,000人未満)	五城目町	秋田県	77.7%	7,223人/9,295人
カテゴリー3 (15,000~35,000人未満)	杵築市	大分県	74.6%	21,966人/29,437人
カテゴリー4 (35,000~75,000人未満)	碧南市	愛知県	83.8%	61,253人/73,063人
カテゴリー5 (75,000~160,000人未満)	甲斐市	山梨県	91.6%	69,368人/75,763人
カテゴリー6 (人口160,000人以上)	宇部市	山口県	69.3%	114,694人/165,425人

※2019年1月1日現在の人口(住民基本台帳登録者数)

★各自治体の参加率やチャレンジデーに関する詳細は、
笹川スポーツ財団のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ssf.or.jp/>

チャレンジデー2019 開催概要

【実施日】2019年5月29日(水)午前0時~午後9時

【実施自治体】119自治体(58市1区46町14村)

【参加者数】3,065,438人

【主催】公益財団法人 笹川スポーツ財団、各実施自治体実行委員会

【後援】総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、スポーツ庁他

【特別協賛】公益財団法人 日本財団 【協力】ミズノ株式会社

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当：森田/山下/尾上/小淵

TEL：03-6229-5300 E-mail：cday@ssf.or.jp

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2019」 ベストPR賞は宇部市(山口県)に、広報アイデア賞は滝沢市(岩手県)に決定

笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2019」を、5月29日(水)に開催いたしました。

全国119自治体(58市1区46町14村)で実施された「チャレンジデー2019」は、
参加者数 3,065,438人、平均参加率 58.9%の結果となりました。

全実施自治体の中で、最も多く報道機関に取り上げられた自治体に贈られる「**ベストPR賞**」には、**山口県宇部市(報道件数:29件)**が輝きました。チャレンジデーを広く周知するために、ユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる「**広報アイデア賞**」は**岩手県滝沢市**が受賞しました。

◆ベストPR賞:宇部市(山口県)

[概要] 全実施自治体の中で、最も多く報道機関に取り上げられた自治体に贈られる賞。

[受賞理由] 同市は、対戦相手が決定した3月以降、地元紙をはじめとする新聞やテレビ、ウェブニュースなど様々な媒体で29件の報道実績を獲得。2016年から4年連続の受賞となる。

◆広報アイデア賞:滝沢市(岩手県)

[概要] チャレンジデーを広く周知するために、ユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞。

[受賞理由] 同市は、市内企業と連携し、制作した自治体公式キャラクター「ちゃぐぼん」と、チャレンジデーロゴとのコラボグッズで親しみやすさを醸成し、また、SNSでは参加者分析も行うなど、チャレンジデー初実施ながら意欲的な取組が目立った。



滝沢市公式キャラクター
「ちゃぐぼん」と
チャレンジデーロゴの
コラボ

チャレンジデーは、日常的な運動・スポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや住民の健康づくりなどを目的に、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型のスポーツイベントです。

人口規模がほぼ同じ自治体同士で、午前0時から午後9時までの間に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率(%)を競い合い、敗れた場合は対戦相手の自治体の旗を、翌日から庁舎のメインホールに1週間掲揚するというユニークなルールによって行われます。